別紙１

令和８年度　　田原中学校　学校評価書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

１　教育目標（目指す生徒像含む）

（１）基本目標

人間の尊厳を重んじる教育を基盤に，生きる力を育むことを目指し，未来を切り拓いていける生徒を育成する。

（２）具体目標（具体的な児童生徒像など）

① 自ら学び実力のある生徒

（基礎･基本を確実に習得し，それらを活用する力を身につけるとともに，目標や，自ら学ぶ意欲をもった生徒の育成）

② 心豊かで思いやりのある生徒

（自信や自己有用感，規範意識，思いやりをもった心豊かな生徒の育成）

③ 健康でたくましい生徒

（生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質･能力をもった生徒の育成）

（３）生徒指標

「よく学び，よく鍛えよ」

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

・学校は，子どもたちにとって，「安心して学べる場所」であること
・学校は，教職員にとって，「遣り甲斐を感じる場所」であること
・学校は，保護者・地域の方々から，「信頼される場所」であること

上記のような学校を目指し，心の触れ合う豊かな人間関係に支えられた温かみのある学校づくりを推進する。

３　学校経営の方針（中期的視点）

※「小中一貫教育･地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（１）学習指導要領や第２次宇都宮市学校教育推進後期計画等の趣旨を踏まえながら，生徒の実態や学校や地域の特色を生かした教育課程を編成する。

（２）生徒一人一人の学ぶ意欲を高め，基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。

（３）生徒一人一人の共感的理解を基盤とした生徒指導・生徒支援の充実を図るとともに，家庭や関係機関との連携を図り，個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導と長期的な視点に立った特別支援教育を推進する。

（４）道徳科や心の教育の充実を図るとともに，読書活動や生徒が主体的に取り組む体験活動を通して，道徳的実践力を高め，生徒の内面に根ざした道徳性を育成する。

（５）家庭との連携を強化し，健康管理や体力づくり，食に関する指導の充実を図り，生徒が将来にわたって心身ともに健康に生活していく基盤づくりを推進する。

（６）発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進し，社会的な自立に向け必要となる能力・態度を育成する。

（７）教職員が心身ともに健康で遣り甲斐をもって勤務できる環境を整え，質の高い教育を行えるよう，校務の効率化と業務の見直し，労働時間の適正化（１ヶ月の時間外在校等時間８０時間内）に努めるなど，働き方改革を推進する。

（８）教育的愛情と使命感をもち，教育公務員としての服務規律の厳正やコンプライアンス，危機管理を徹底する。

（９）良き伝統や地域の特性を生かした特色ある教育活動を推進し，学校・家庭・地域社会との連携のもと，ともに歩む学校，信頼される学校づくり目指す。

（10）児童生徒の９年間の成長を見通した小中一貫教育を推進し，教育ビジョンが掲げる生徒の育成を目指す。

【田原地域学校園教育ビジョン】　自立を目指しながら積極的に地域社会と関わる田原っ子の育成

４　教育課程編成の方針

（１）教育基本法及び学校教育法，その他法令並び学習指導要領，栃木県教育ビジョン，栃木県教育振興基本計画２０２５，第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画，宇都宮市「指導の重点」等を踏まえ，学校経営の理念並びに学校教育目標の具現化を目指し，生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分に考慮し，適切な教育課程を編成する。
（２）教育課程の編成に当たっては，学習を通して身に付けた力を活用し，現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を教科等横断的な視点から育成する。
（３）目指す生徒像や育てたい資質・能力を教科等横断的な視点で確実に育成し，教育活動の質を高めることに結び付くよう，カリキュラムマネジメントを推進する。

５　今年度の重点目標（短期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇印を付ける。

（１）学校運営
「全教職員が学校の課題を共通認識し，課題解決のためにチームとして取り組む体制の確立」
・教職員一人一人の対応力と組織的な支援や対応ができる協働体制の強化
・教職員相互の認め合い，助け合える職場環境づくりの推進
「教職員の資質・能力の向上」
・生徒に伴走し，生徒の可能性を引き出し伸ばすことができる教師力の向上
〇様々な困難を抱える生徒を取り残さないきめ細やかな支援の充実
「信頼される学校づくりの推進」
〇未来を切り拓くための生徒の健全育成と学力向上の保障
・教育公務員としての服務規律の厳正とコンプライアンスの徹底
「学校における働き方改革の推進」
・業務の効率化及び簡略化と労働時間の適正化
・採点ソフトや校務支援ソフト等の有効活用
（２）学習指導
「自ら学ぶ意欲と習得した基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題解決することができる力の育成」
〇基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得に向けた指導の工夫
〇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
〇授業改善プランの確実な実施
・教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成
・宮・未来キャリア教育の充実
（３）児童生徒指導
「心の教育の充実による自信や自己有用感，規範意識，思いやりなど，豊かな人間性や社会性の育成」
〇不登校を生まない，生徒が安心して過ごせる望ましい人間関係を核とした学級集団づくり
・他者との関わり方を学ぶ教育活動と体験活動等による宮っ子心の教育の推進
〇いじめを生まない指導・支援の充実
・思いやりや規範意識の醸成を図る道徳科の授業や学校行事等の実施
（４）健康（体力・保健・食育・安全）
「生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成」
・元気アップ教育の推進
〇運動に親しみ，体力を高めようとする資質・能力の育成
・早期治療や肥満防止など，健康を管理する能力の育成
・望ましい食習慣の形成及び食に対する感謝の念の育成
・登下校及び日常生活における危険予測・回避能力の育成

６　自己評価

A1～A21は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）
※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入
※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　生徒は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%	・自分の考えをもち，対話による学び合いを行ったり，協働的に課題に取り組んだりする場を多く取り入れ，深い学びの実現に向けた授業改善を図る。 ・興味・関心を起点に「自ら課題を探求し，振り返り，次につなげる」という学び方を身に付けさせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（２）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　生徒は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	・道徳・学級活動等の授業を工夫したり，朝の会や帰りの会等で生徒の善行を称賛したりするなど，互いのよさを認め合う活動を多く取り入れる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ３　生徒は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%	・様々な教育活動の中で試行錯誤する場を取り入れ，前向きに挑戦したり，最後までやり抜いたりすることの大切さを実感させる。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（３）健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　生徒は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	・生徒が健康に関心をもち，健康的な生活習慣を身につけることができるよう計画的な指導を図る。 ・避難訓練や交通安全教室等を通して，災害や事故が起きた時に自己判断ができるよう「危機を予測し回避する力」を身に付けさせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（４）将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　生徒は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	・学校生活全般を通して，「努力を認め，達成状況を褒めて次に向けて励ます」機会を増やし，生徒の自尊感情を育てる。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（１）グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　生徒は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%	・外国語の授業の中で，コミュニケーション能力の育成強化のプランを立てる。 ・修学旅行で，積極的に外国人とのコミュニケーションを図らせる		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ａ７　生徒は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	・「宇都宮学」の時間を通して，探究的な学習を行うことで，宇都宮についての知識を深め，郷土への愛情を育む。 ・食育及び委員会活動における地産地消や郷土の食文化の紹介等の取組を通して，宇都宮市の良さに触れる機会を増やす。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（２）情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　生徒は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%	・各教科の授業の中で，一人一台端末や図書資料等を活用し，自分の考えをまとめる力を育成する。 ・教師が積極的に ICT 活用の研修を重ね，各授業において，ねらいを達成するための手段として効果的に活用できるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（３）持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　生徒は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	・各教科指導の中で,SDGs(持続可能な社会)についての関連等に触れ，実現に向けた工夫について考える機会を増やす。 ・リサイクルやゴミの分別等に積極的に協力させ，SDGs への意識を高める。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（１）インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%	・教育相談部会や校内支援委員会などを活用し，特別な支援を必要とする生徒やその特性への理解を深め，個々の状況に応じた支援を行う。 ・市教育センター等との連携を図りながら，実態に応じた適切な指導の情報を得たり，校内研修等を行ったりするなど,教職員の指導力を高める。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（２）いじめ・不登校対策の充実	Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%	・アンケートを定期的に実施し，いじめ防止･早期発見に努めるとともに，いじめの根絶を目指し，組織で的確な対応を行う。 ・誰もが安心して学校生活が送れるよう，互いに認め合い，支え合い，高め合う集団づくりを推進する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%	・日常的な生徒の観察を強化し，居心地のよい学級,学校づくりに努める。 ・生徒一人一人の心に寄り添う指導を強化する。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（３）外国人児童生徒等への適応支援の充実	Ａ13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。	・生徒一人一人の話を親身になって聞き，安心して学校生活を送れる雰囲気を醸成する。 ・生徒会活動や学校行事を通して，生		【達成状況】 【次年度の方針】

3－（4） 多様な教育的ニーズへの対応の強化	【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%	徒が協働して企画運営することで，自己理解や他者理解への興味・関心を高めるとともに，豊かで心穏やかな心情を育む。		
4－（1） 教職員の資質・能力の向上	A14　教職員は，分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%	・授業の中で，「めあて」を提示し，記述による「振り返り」を必ず行うことで，学習内容を理解させる。 ・一人一授業を公開し，指導力向上のために「生徒がどこでつまずいたか」「どの発問で思考が動いたか」という生徒の事実に注目した研究協議を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
4－（2） チーム力の向上	A15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%	・教育目標及び学校経営の方針を全職員が意識し，情報を共有しながらチームとして組織的に業務に取り組む。		【達成状況】 【次年度の方針】
4－（3） 学校における働き方改革の推進	A16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%	・業務の優先順位を明確にするなど，見通しをもって職務を遂行する。 ・採点ソフトや校務支援ソフト等の有効活用を推進する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A17　生徒と向き合う時間を確保できている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%	・会議は協議及び決定する場と限定し，放課後の時間を確保する。 ・生徒指導・教育相談部会を具体的な指導・支援を協議する場，記録・報告の負担軽減など，生徒対応を仕組み化することで，生徒と向き合う時間を確保する。		【達成状況】 【次年度の方針】
5－（1） 全市的な学校運営・教育活動の充実	A18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	・あいさつ運動の共同実施，乗り入れ授業，中学校訪問等，小・中合同で実施する行事の一層の充実を図り，生徒の意識を高める。		【達成状況】 【次年度の方針】
5－（2） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5－（3） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A19　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%	・ＰＴＡや地域協議会と連携し，様々な教育活動を通して地域との交流を深め，積極的に地域行事のボランティア等に生徒が参加する機会を大切にする。		【達成状況】 【次年度の方針】
6－（1） 安全で快適な学校施設整備の推進	A20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%	・学校における施設・用具等の整理整頓及び計画的な修繕，生徒会を中心としたＧＣＲ活動のＣ（清掃）に力を入れる。 ・ＰＴＡや地域協議会の協力のもと，花壇や学校農園の充実を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

６－（２） 学校のデジタル化推進	Ａ21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%	・一人一台端末の効果的な活用法についての研究を進める。 ・ICT 機器の点検を定期的に行い，インターネット接続の不具合に対応できる環境を整える。 ・生徒への適切な使用の啓発を継続する。		【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　生徒は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%	・校内や地域学校園内でのあいさつ運動の推進，また，授業や学校生活の中で，その場に応じたあいさつの奨励を行い，ＧＣＲ活動のＧ（あいさつ）を充実させる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ２　生徒は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	・学校生活の中で，時間やきまりを守って生活することの大切さを理解させ，基本的生活習慣が身に付くよう指導する。 ・言語環境を含め，安全・安心な環境整備に努め，生徒が，決まりやマナーを守って生活できる環境づくりに努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ３　生徒は，主体的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	・1 年次から学習方法をより丁寧に指導・助言し，学年に応じた自主学習を推奨するなど，課題の出し方を工夫する。 ・保護者と連携し，粘り強く家庭学習の習慣を身に付ける指導を継続する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ４　生徒は，自ら進んであいさつすることを意識して生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	・ＧＣＲ活動のＧ（あいさつ）の一層の充実を図るために，生徒会や委員会活動で，生徒が自主的にあいさつできるよう啓発活動を行う。 ・ＧＣＲ活動推進委員会を定期的に開催し，活動の見直しや改善を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ５　生徒は，清掃活動に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	・ＧＣＲ活動のＣ（清掃）の一層の充実を図るために，生徒会環境整備委員会での啓発活動や，全教職員による率先垂範など，昨年同様に，工夫した活動を取り入れる。 ・ＧＣＲ活動推進委員会を定期的に開催し，活動の見直しや改善を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ｂ６　生徒は，朝の読書の時間以外にも読書に親しんでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%	・読書に親しむために，学校図書館司書との連携を図り，また，生徒会図書委員による啓発活動を積極的に行うなど，ＧＣＲ活動のＲ（読書）の一層の充実を図る。 ・ＧＣＲ活動推進委員会を定期的に開催し，活動の見直しや改善を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。